年間授業計画　様式例

都立拝島 高等学校　令和8年度（１学年用）　教科　芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　　１学年　　１組～　　７組

教科担当者：（1～7組：栗原智美）

使用教科書：（ 高校生の美術Ⅰ　　）

教科　芸術　　目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　学習を通して感性を高め，心豊かな生活を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めること。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，意図に応じて表現方法を創意工夫し，表すこと。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生成し発想や構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすること。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとすること。多角的な視点を持ち、対象を観察する術を身に付けようとすること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 題材 表現デザイン(自分を表す一文字のデザイン) 【知識及び技能】 絵の具の使い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分を表す文字を考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 自分を表す文字をデザインや文章で表現しようとする。	・指導事項 鑑賞者に与える視覚効果について、絵具を用いて基本的な描画方法について ・教材 教科書、配布プリント、絵具、画用紙、一人１台端末の活用　等		○		○	【知】構図を理解して，絵具を用いて歪みやはみだし，擦れがなく綺麗に描いている。 【思】「自分を表現する一文字」というテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし，色彩，構成などについて考え，表現の構想を練っている。 【学】主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	A 題材 表現　デザイン(アクリル絵の具を用いたポスターの制作) 【知識及び技能】 ポスターの持つ情報伝達機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭というキーワードからイメージを広げ、表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭のテーマに対して自ら進んで考えを深め，表現しようとする。	・指導事項 ポスターデザインにおける構図の効果について，アクリル絵の具を用いた表現技法について ・教材 教科書、配布プリント，アクリル絵具、筆記用具，イラストレーションボード ・一人１台端末の活用　等		○		○	【知】ポスターの持つ機能を理解し、作品制作の中で応用することができる。アクリル絵の具を用いて作品を制作することができる。 【思】共通したテーマに対して自分自身の考えを持ちながら表現形式の特性を生かし，色彩，構成などについて考え，表現の構想を練っている。 【学】主体的にポスター制作における表現及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	A 題材 映像メディア表現　(自分のPR動画) 【知識及び技能】 自己紹介動画を作品にまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きな場所やことについて選び取り、映像や写真を構成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料や材料を多く集め、規定の動画の長さで制作することができる。	・指導事項 資料や材料を多く集め、文字や音楽を使って構成する方法について ・教材 教科書、一人１台端末の活用　等			○	○	【知】タブレットのアプリを使用して、集めた動画や画像をまとめることができる。 【思】 自分の好きな場所や写真を選び取り、映像や写真を構成することができる。 【学】資料や材料を多く集め、規定の動画の長さで制作することができる。	○	○	○	8
2学期	A 題材 表現　彫刻(透かし彫りを用いたハンガーの制作) 【知識及び技能】 透かし彫りの持つ視覚効果について理解する。 切削工具を扱い、木材を加工する。 【思考力、判断力、表現力等】 透かし彫りの特性を理解し、木彫表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の在来種に対して自ら進んで調べ、作品に取り入れようとする。	・指導事項 彫刻刀の扱いに注意して制作することについて ・教材 教科書、木彫ハンガー、彫刻刀、一人１台端末の活用　等	○			○	【知】透かし彫りの持つ視覚効果を理解し、作品制作の中で応用することができる。切削工具を用いて作品を制作することができる。 【思】伝統的な木彫技法に対して自分自身の考えを持ちながら造形表現の特性を生かし，構想を練っている。 【学】主体的に透かし彫りを用いた木彫における制作及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	24
3学期	A 題材 映像メディア表現(コマ撮りアニメ) 【知識及び技能】 アニメーションについて学習し，自らの作品制作に生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 アニメーションにおける表現方法や工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられたテーマについて身の回りの環境から主題を生成し、自ら進んで考えを深め，表現しようとする。	・指導事項 アニメーションにおける表現方法について ・教材 教科書、配布プリント，一人１台端末の活用　等			○	○	【知】現代アートにおける表現活動の幅広さを理解し、作品制作に生かすことができる。 【思】現代アートに対して自分自身の考えを持ちながら主題を生成し，構想を練っている。 【学】主体的に資料集めを行い、作品制作及び鑑賞活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	A 題材 表現　共同制作（協力して一つの作品を生み出す） 【知識及び技能】 使用する教材を適切に扱うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 全体のバランスを考えながら、色みや構成を考えて制作することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 友達と協力して、制作することができる。	・指導事項 全体のバランスを確認しながら、制作を進めることについて ・教材 教科書、画用紙、絵の具　等		○		○	【知】完成のイメージから、使用する教材を適切に使用することができる。 【思】全体のバランスを見ながら、色みや構成を考えて制作することができる。 【学】友達と協力して、声を掛け合いながら制作することができる。	○	○	○	12 合計 70